

済寧市概況



【基礎情報】(2024年)

- 人口: 824.05万人 (省内6位/16市)
- 面積: 11000km² (省内6位)
- GDP: 5867.49億元 (省内6位)



【党書記 温金榮】

1973年8月生まれ、広東出身。
2024年10月～現職

(前任: 林紅玉・山西省副省長)



【市長 張海波】

1971年2月生まれ、煙台市出身。
2025年1月～現職

(前任: 于永生・山東省交通運輸
庁党組書記)

【歴史的エピソード】

- ◆周や漢の時代に「魯」の国が存在。儒教文化の発祥の地で、5聖人(孔子、孟子、顔子、曾子、子思子)の生誕地。
- ◆梁山県の梁山泊は、昔は大きな沼地で水滸伝の舞台となった。
- ◆市内を貫く京杭大運河を利用し、明清時代には山東省内で最も経済が発展した町として「江北小蘇州」と呼ばれた。
- ◆済寧の名は元の時代(1271年)から使われ始めた。

【現在の特徴】

- ◆沿海経済帯(東)、中原経済区(西)、長三角都市群(南)、環渤海経済圏(北)に囲まれた「淮海経済区」の中心的都市の一つ。
- ◆石炭採掘量が多い(全国八大産地の一つ)。
- ◆文化歴史都市として、毎年「尼山世界文明フォーラム」を曲阜で開催。
- ◆特産・名物(曲阜): にんにく(全国最大の生産地)、楷木彫刻、尼山硯、釉薬瓦等。

【日本との関係】

- ◆在留邦人: 29人(2024年10月現在)
- ◆友好都市: 足利市(1984年)、小松市(2008年)、曲阜市と佐賀県多久市(1993年)、泗水県と熊本県菊池市(1994年)
- ◆2007年に福田康夫首相が曲阜を訪問。(福田元総理は2024年にも尼山世界文明フォーラム出席のため同地を訪問)
- ◆ODA: エン洲～石臼所間鉄道建設事業(1980～1983年)の円借款協力実績あり。

【日本とゆかりのある地・施設】

◆孔林

栃木県・足利学校の遺蹟図書館前にある大樹は、白澤保美・東京林業試験場長が孔林から持ち帰った楷(かい)の木の種子を発芽させ、1936年に同校に贈ったもの(足利市HP)。



◆日中友誼植林

1984年に済寧市と足利市の友好都市締結を記念してエンジュの木が植えられた。すぐそばにはエンジュの木(中国名:槐樹)から名前を取った槐亭という亭(あずまや)が立てられている。



【観光地】

◆三孔(曲阜市)

孔子に縁のある孔府(直系子孫の住居跡)、孔廟(孔子の神霊を祭る)、孔林(孔子及び子孫の墓)の三か所の総称。1994年に世界遺産に認定。



◆孔子博物館(曲阜市)

2018年に開設され、孔子にまつわる約70万点の文献・史料を所蔵している。儒教の日本伝来に関する説明もある。



【グルメ】

◆孔府菜

山東料理(魯菜)の三大料理体系の一つ。宋の時代が起源。

